カンボジア 土器



カンボジア土器とは?

今日でも土器を作り、使う文化や生活は世界各地において見られ、カンボジアはその一例である。展示しているのは、土鍋(チュナン)と水差し(コーム)、フィギュアである。前者二つは伝統的な技法で、後者は先進国の技術を導入して製作されている。

しかし、周辺の国はより丈夫で安価な金属製の鍋に転換しており、カンボジアでもそうなる時がくるのかもしれない。土器を通じて伝統技術の価値を知ってもらえれば幸いである。

フィギュア



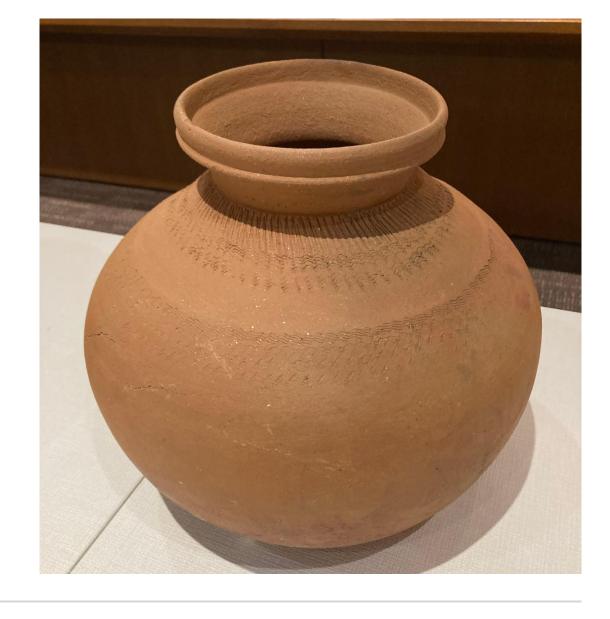
土鍋(チュナン)



土鍋(チュナン)



水差し(コーム)



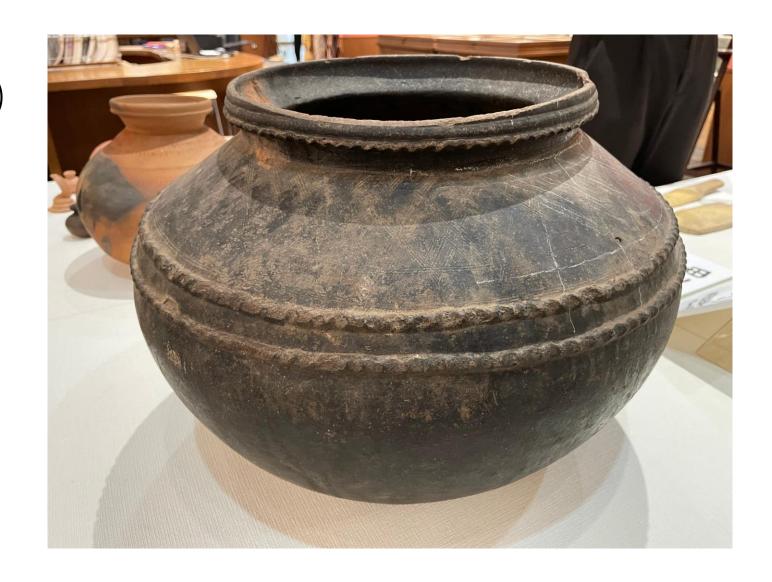
当て具(クルン)



ミニチュア



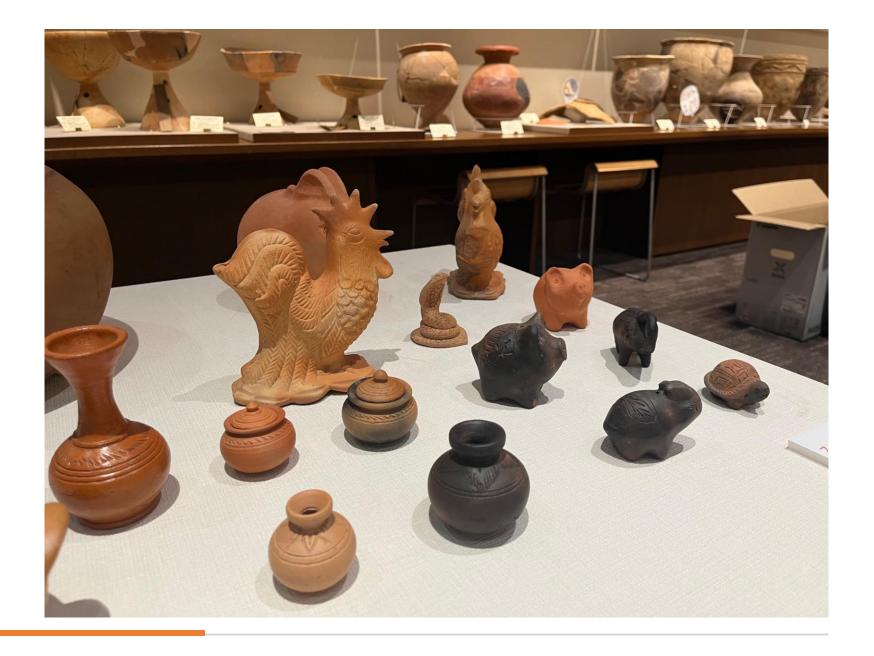
米びつ(クヴォン)



叩き板(スラッコー)



ミニチュア



牛の靴

牛の靴 黒澤コレクション 土器程、付けた仲買人は それを行商人に卸し、行商人が 牛車もにはパイクに荷台を付けれて 売りに行く。牛州土器を運水際 アスファルトで節を痛めないように 後かせていた。古いタイヤのコンで てきている.